



平成21年1月15日

## 地震学を利用した核実験探知技術の研修を開講

(「第14回国際地震工学研修グローバル地震観測コース」)

核実験が実施されると地面が振動し、全世界に伝わります。この振動を地震学の知識を使って調べることにより、これが核実験による振動か、自然の地震による振動かが識別できます。また、核実験の実施場所や規模を知る大きな手がかりになります。

そこで、独立行政法人建築研究所では、包括的核実験禁止条約への協力として、1995年から毎年、地震学を利用して核実験を探知するための技術の修得を目的とする「国際地震工学研修グローバル地震観測コース」を実施しております。

1995年の開講以来、現在までに68ヶ国から129名の研修生を受け入れ、日本の国際協力、技術援助の分野で高い評価を得てきております。

今回で14回目となる国際地震工学研修グローバル地震観測コースは、1月8日に開講し、3月6日までの約2ヶ月間、10ヶ国から10名の研修生を受け入れ、核実験探知に必要な知識と技術についての研修をJICA及び気象庁と協力して実施します。

### (内容の問合せ先)

独立行政法人建築研究所

所属 国際地震工学センター  
管理室長

氏名 櫻澤 昌二

電話 029-879-0678(直通)

E-mail [sakuraza@kenken.go.jp](mailto:sakuraza@kenken.go.jp)

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。

## 地震学を利用した核実験探知技術の研修を開講

(「第14回国際地震工学研修グローバル地震観測コース」)

核実験が実施されると地面が振動し、全世界に伝わります。この振動を地震学の知識を使って調べることにより、これが核実験による振動か、自然の地震による振動かが識別できます。また、核実験の実施場所や規模を知る大きな手がかりになります。

そこで、独立行政法人建築研究所では、包括的核実験禁止条約への協力として、1995年から毎年、地震学を利用して核実験を探知するための技術の修得を目的とする「国際地震工学研修グローバル地震観測コース」を実施しております。

1995年の開講以来、現在までに68ヶ国から129名の研修生を受け入れ、日本の国際協力、技術援助の分野で高い評価を得てきております。

今回で14回目となる国際地震工学研修グローバル地震観測コースは、1月8日に開講し、3月6日までの約2ヶ月間、10ヶ国から10名の研修生を受け入れ、核実験探知に必要な知識と技術についての研修をJICA及び気象庁と協力して実施します。

<研修生の出身国名 (10ヶ国) >

- ・チリ、マラウイ、ミャンマー、ネパール、フィリピン、サウジアラビア、スリランカ、シリア、タイ、ベトナム

<来日した10名の研修生>

